

昭和24年の開園以来70年余りが経過した。この間の子どもを取り巻く環境は大きく変化をし、それにともない入所理由も変わってきた。開園後に子供の家から社会に巣立っていった児童、あるいは家庭等に復帰した児童は合計1,038名に及んでいる。

平成28年に児童福祉法が大幅に改正され、権利の主体者をより明確に児童と位置付けるとともに、さらに家庭支援が強化されることとなった。

子供の家では児童福祉法や子どもの権利条約の理念のもと、平成28年12月に策定した子供の家の運営理念、運営目標に基づき児童の最善の利益のために、養育及び自立支援に取り組んできた。

## ◎令和4年度事業計画に掲げた重点目標に対する主な取り組み

### (1) 児童の権利擁護

- ① 外部講師を招き権利擁護に関する研修を行うことで、養育の質の向上に努めた。  
また、専門職が参加した支援会等を積極的に行い、児童の権利擁護について確認し、自立に向け協議を重ねた。
- ② 意見箱の設置や、学期ごとにブロック単位で職員と児童が話合う機会を設けることで、児童の声を反映させる環境整備に努めた。

### (2) 児童の養育・支援

- ① 心理療法担当職員・家庭支援専門相談員・個別対応職員・自立支援担当職員等の専門職を配置し、それぞれが連携し各児童に応じた専門的な支援を行った。
- ② 看護師・栄養士を中心に、新型コロナウイルス感染対策を徹底して行い、児童が安心して生活を送ることができるよう感染防止に努めたが、職員17名、児童17名が感染することとなった。

#### ◆医療的ケア

- 医療的ケア対象児童数 20名
- 全児童延べ受診者数 813名
- 主な医療機関 医療センター・高知大学医学部附属病院・愛宕病院  
療育センター・近森病院等

#### ◆心理療法

- 心理療法対象児童数 17名
- 年間延べ実施日数 248日
- 1日当たり平均実施時間 1時間

#### ◆被虐待児個別対応職員の活動状況

- 個別対応対象児童数 6名
- 個別対応年間実施日数 100日
- 1日当たり平均実施時間 30分

◆中学・高校等を卒業した者の進路状況（令和4年度）

進学先		就職先	
高 校			
伊野商業高校	1名	県内製造業	2名
岡豊高校	1名		
日高特別支援学校高知しんほんまち分校	1名		
専門学校			
高知福祉専門学校	1名	県外福祉施設	1名
早稲田美容専門学校	1名		

（3）家庭支援と自立支援の強化

- ① 社会福祉士の資格を持つ職員等3名を家庭支援専門相談員として配置し、体制の充実を図るとともに、関係機関と連携し家庭支援に取り組んだ。
- ② 高知県社会的擁護自立支援事業を積極的に活用し、園外で生活する対象者に対して支援を行いながら、それぞれの課題解決を図った。
- ③ 自立支援担当職員・家庭支援専門相談員が連携しながら施設退所者の状況を把握し、アフターケアの充実に努めた。

（4）事故防止と危機管理

- ① 防災マニュアルを随時見直すとともに、年間避難訓練計画に基づき火災、地震、津波を想定し、様々な形で避難訓練や消火訓練を実施した。
- ② 定期的に備蓄食料等の点検を行い、地域の避難所としての役割を果たすため、日頃より積極的に地域活動に参加し、地域との関係を深めた。
- ③ 防災対策マニュアルをもとに、南海トラフ大地震が起きた際の対応について研修を行い、地震時の各職員の役割について確認を行った。

（5）家庭的養育の推進

- ① より家庭的な養育を目指し、小規模グループケアを6ブロックとするとともに、各ブロックに専任職員を3名配置し、地域分散化・高機能化、多機能化を見据え職員のスキルアップに取り組んだ。

（6）関係機関連携と地域支援

- ① 地域の地縁組織や関係機関との連携のもと、地域の子育て支援のニーズや情報の収集に努めた。
- ② 9自治体と業務委託の契約を締結し、ショートステイの受け入れを行った。

（7）職員の資質と施設運営の向上

- ① 階層別研修や専門職研修へ積極的に職員が参加し、スキル、キャリアアップを図った。
- ② 職員会、ケース検討会等の各種会議を適宜行い情報の共有化を図り、施設運営の向上に努めた。

◆各種研修会等への参加状況

- 全養協関係 1回 / 2名      ○中四国養協関係 1回 / 2名
- 県養協関係 3回 / 12名      ○全社協関係 2回 / 3名
- 各種専門研修5回 / 9名      ○子どもの虹関係 3回 / 3名
- その他 3回 / 4名
- 園内研修 (事例検討会・防災・権利擁護・感染症・AED・新任職員研修などを実施)

◆実習生の受け入れについて

- 社会福祉士相談援助実習 3名  
(美作大学・高知県立大学)
- 保育実習 13名  
(高知大学・高知龍馬看護ふくし専門学校・神戸こども元町専門学校・高知福祉専門学校)

◆年度別児童・職員数

各年度3月31日現在

年 度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
定員 (暫定)	70名 (52名)	70名 (51名)	70名 (53名)	70名 (52名)	70名 (52名)
在籍児童数	47名	47名	44名	41名	44名
職員数 (臨時・パート含む)	38名	39名	38名	38名	39名

◆令和4年度 月別児童数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総数	44	44	44	44	44	44	43	44	45	45	45	44
入所	3	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	4
退所	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5

◆学年別児童数

令和5年3月31日現在

	就学前		小学校						中学校			高校			そ の 他	計
	3歳 未 満	3歳 以 上	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	3 年		
男	0	6	3	4	2	0	0	0	1	3	2	3	2	1	2	29
女	0	2	1	0	0	2	1	1	3	1	2	1	1	0	0	15
計	0	8	4	4	2	2	1	1	4	4	4	4	3	1	2	44

\*令和4年度末自立支援事業対象者4名

◆入所主訴理由別児童数

令和5年3月31日現在

入所理由	人数	構成比
養育困難	25人	56%
身体的虐待	3人	7%
心理的虐待	2人	5%
性的虐待	0人	0%
ネグレクト	14人	32%
合計	44人	100%

◆一時保護委託の状況（受託先：児童相談所）

項目	利用実人員	延べ利用人員	延べ利用日数
令和4年度	3名	3名	101日
令和3年度	2名	2名	205日
令和2年度	5名	5名	467日

◆子育て支援短期利用事業（契約先：高知市・南国市・安芸市・土佐市・室戸市・いの町  
佐川町・田野町・日高村）

項目	利用実人員	延べ利用人員	延べ利用日数
令和4年度	5名	5名	32日
令和3年度	2名	3名	5日
令和2年度	5名	6名	30日

◆令和4年度 主要な年間行事

- 4月 小・中学校家庭訪問
  - 5月 子どもの日バイキング（各ブロックで対応）
  - 6月 輪抜け祭
  - 7月 浦戸湾のんびりクルーズ招待
  - 8月 ぶどう狩り（コロナウイルス感染症の影響により寄贈に変更）
  - 9月 内科検診
  - 10月 インフルエンザ予防接種（1回目）
  - 11月 インフルエンザ予防接種（2回目）、中央ライオンズみかん狩り招待
  - 12月 市長サンタ来園（中止）、クリスマスバイキング（各ブロックで対応）
  - 4/1月 正月・新年夕食会（各ブロックで対応）、日赤赤野奉仕団来園
  - 3月 退園祝い外食
  - 通年 「散髪奉仕団・風」による散髪奉仕（毎月第4月曜日）  
高知FD試合招待、子ども劇場招待、その他の招待行事
- ※宿泊キャンプや川遊び等、コロナウイルス感染症のため中止とした行事多数